



福岡市育成会だより

第145号

発行所 社会福祉法人 福岡市手をつなぐ育成会

〒810-0062 福岡市中央区荒戸3丁目3-39 福岡市民福祉プラザ4階
TEL.092-713-1480

この会報は、
共同募金の配分を
受けて作成した
ものです。



ありがとうございました

平成二十六年度を振り返つて

理事長 向井公太

時がたつのは早いもので、早、平成26年度が終わろうとしています。毎年のことながら慌ただしい一年度だったと感じています。

平成26年の四月一日には居宅介護事業所ライフソサートをつなぐを福岡市早良区飯倉に開設いたしました。たくさん事業所の皆様のお力をいただき開設できました。いろんなアドバイスをいただき、事業所の運営のノウハウを教えていただき、本当にありがたく感謝申し上げるところです。紙面を借りて改めてお礼を申し上げます。その中で、「居宅介護事業所は開設してから数年間は運営が厳しいですよ。」とのアドバイスが耳に強く残っています。「手をつなぐ」の現在の状況はまさにそのとおりです。しかし、地域に出かけ、地域の中で福祉のニーズに少しでもお応えできることが社会福祉法人の大切で大きな役割と考えれば、ここは踏ん張りどころと思っています。何年か経つて、育成会に居宅介護事業所があつて本当によかつたと言える時が来るものと確信しています。今この「育成会だより」をお読みいただいている方で、居宅介護事業(ホームヘルパーの派遣な

ど)について少しでも興味や関心がある方は何でも育成会にお尋ねください。

さて、平成26年度には法人内でソフトの部分を中心にいろんな事業が進みました。平成25年度までの虐待防止機能検討等会議を受けて、平成26年度には職員の自発的な動きで虐待防止対応チームが設けられました。同チームは法人内の六つの事業所内での虐待防止の取り組みを調査し、研修会などの事業を推進し、職員の虐待防止に対する意識調査を行うなど組織横断的に活発な活動をいたしました。これに関連して、虐待防止の大きな要素と言われる職員の支援技術の向上を目指して、職員研修が活発化してきました。施設で直接支援に当たっている職員の要望するテーマによる研修を数回実施いたしました。あわせて、法人外の研修を含め職員の研修への自発的な参加が増加したと思っています。また、社会福祉士や介護福祉士をはじめとする国家試験へ挑戦する職員も増加してきました。すぐには、その効果が出ないでしようが少しの時間を経過して育成会の発展にどうよりは利用者の皆さん方が本人が望ま

れる生活を送ることができるよう支援できることを確信しています。この他にも、11月には福岡市植物園で利用者、保護者、職員の合同花見会が実施できました。事業所の数が増加する中で、ともすれば希薄となる三者の間の関係を強めるためということもありますが、懐かしい顔に会えたという声に代表されるように素直にうれしい時間となりました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

一法人ではどうしようもない福祉を取り巻く環境の変化に伴ういろいろな課題を抱えながら過ごした一年度ではありました。前述の取り組み以外にも職員提案制度や人事評価制度の実施、職員採用試験の改善などに取り組んでまいりました。ハードに関わるものとしては、終の棲家の具体化に係る検討を進めるなど道半ばではありますが前進がありました。

平成27年度もさまざまな課題の実施に向け取り組んでまいります。結びにあたり、この一年度の皆様のご支援に感謝申し上げますとともに、平成27年度における皆様のご支援をお願い申し上げます。

虐待防止対応チーム報告

今年度は、虐待防止対応チームを設置し、法人独自の「施設における障がい者虐待防止チェックリスト」を作成し、昨年7月、全職員を対象に実施しました。虐待に繋がる可能性のある潜在的なリスクを早期に発見し、発生を未然に防止すること、組織体制の強化、職員の意識啓発等を目的としています。

実施後、職員からは「呼称、言葉遣い等、職員同士で注意し合える環境づくりが大切である。」「再度自分自身の支援方法を見直すよいきっかけになつた。」「アンケート終了後に気になる点についての話合いを行つた。」「定期的にチェックを行っていくことが必要である。」等の意見があがりました。アンケートの集計結果については、虐待防止法人内研修会で全職員に報告を行っています。

今後もチェックリストをもとに調査を実施し、職員の問題意識を高め、サービスの質の向上を目指して行きたいと考えています。

26年から開始しました職員提案について、福岡ひまわりの里の吉富孝史さんから提案をいただきました。

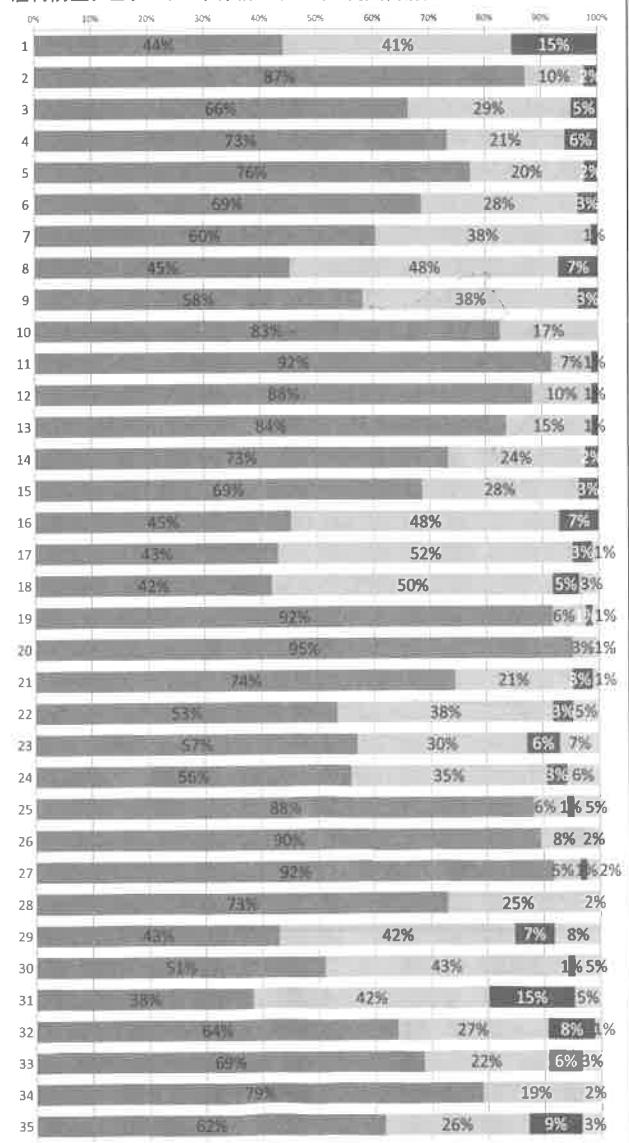
平成26年度職員提案について

施設における障がい者虐待防止チェックリスト(Aできている・Bある程度できている・C出来ていない)

- (1)利用者を「ちゃん」付けや「君」付けだけでなく、「さん」付けで呼んでいる。
- (2)利用者を呼び捨てにすることはない。
- (3)利用者をニックネームで呼んだりすることはない。
- (4)職員を「先生」と呼ばせたりすることはない。
- (5)職員相互の会話や会議で、利用者に対して不適切な呼称を用いることはない。
- (6)「～しないと〇〇してあげないよ！」のような交換条件による対応はしていない。
- (7)頭ごなしに「～しなさい！」のような命令語は使用していない。
- (8)頭ごなしに「だめよ！」などの禁止語は使用していない。
- (9)頭ごなしに「どうして～するの？」のような叱責語は使用していない。
- (10)世話をやってやっているというような恩着せがましい態度をとることはない。
- (11)利用者に対して「ふざけんな」「うるせえ」「お前」など乱暴な言葉を使うことはない。
- (12)利用者に対して、馬鹿にしたり、さげすんだりするなど軽蔑したりすることはない。
- (13)利用者が困ったり怒ったりするようなことをして、おもしろがったり、からかったりすることはない。
- (14)利用者に対して、高圧的で、威嚇するような態度をとり、相手の言動を押さえつけようとするこはない。
- (15)利用者に対して、聞こえないふりをしたり、無視や否定的な態度をとることはない。
- (16)利用者に対して、「後でね」など言って長時間待たせたりすることはない。
- (17)利用者がするつもりでいることを、職員が早く済ませようとして、手っ取り早く片付けたりすることはない。
- (18)どの利用者に対しても同じ態度で接している。
- (19)利用者に対して、理由の有無に関わらず、体罰などをを行うことはない。
- (20)利用者や机、椅子などを冗談半分で、蹴ったり、叩いたりすることはない。
- (21)食事に時間のかかる利用者を急かしたり、叱ったりすることはない。
- (22)利用者が自らを傷つけたり、他者に危害を加えるなどの行動(行動障害)をとった場合に、利用者を責めることなく、できるだけ受容する姿勢で受け止めている。
- (23)危険回避のための行動上の制限が予想される事項については、事前に本人、家族に説明し同意を得るとともに、方法を検討し実施に当たっては複数の職員によるチームアプローチをとっている。
- (24)利用者に対するサービス提供に関わる記録書類(ケース記録等)について、対応に困難が生じた事柄や不適切と思われる対応をやむ不得行なった場合などの状況も適切に記入している。
- (25)トイレ介助など介助内容によって、できるだけ同性介助の配慮をしている。
- (26)トイレ介助や更衣の時は、ドアやカーテンを閉めるなど、利用者のプライバシーの保護に配慮している。
- (27)利用者個人の秘密やプライバシーに関わる事柄を、第三者に話したりすることはない。
- (28)利用者の同意を事前に得ることなく、ロッカー内の確認、郵便物の開封、所持品の確認、見学者等の居室への立ち入りなどを行わないようしている。
- (29)職員の意思や希望を引き出す雰囲気作りに努力している。
- (30)利用者から求められたサービスの希望に応えられない事柄については、その理由を利用者に説明して、理解を求めている。
- (31)職員同士、職場で相談できる、発言できる環境づくりがなされている。

- (32)他の職員が、利用者に対してあなたが虐待と思われる行為を行っている場面に出くわしたりすることはない。
- (33)他の職員が、利用者に対してあなたが虐待と思われる行為を行っている場面を容認したり(注意できなかった)することはない。
- (34)特定の職員に対して、ぞんざいな態度、受け答えをすることはない。
- (35)特定の職員から、ぞんざいな態度、受け答えをされたことがない。

虐待防止チェックリスト集計グラフ(全施設合計)



平成26年度も最後になりました。今回の事業所報告は、今年度の新たな取り組みの報告と次年度への方向性などを紹介いたします。ショッピング開店、イベント開催、利用者主体の新たな取り組みなど事業所ごとに内容は様々です。今回の報告をお読みいただき、皆様の各事業所へのご理解に繋がれば幸いです。



ひまわり園

ひまわり園 施設長 花田 敏秀

ひまわり園は大きく分けて就労支援部門と生活介護部門に分かれて活動しています。

就労支援部門でのひまわり園の新しい取り組みといったしましては何と言いましても「ショッピングひまわり」の開店だと思います。保護者ボランティアによる販売協力のおかげで何とか軌道に乗せることができました。固定客もでき、今後は売上向上に向かって販売促進の知恵を絞っていきたいと考えています。また職員の支援を受けながらできるだけ利用者のみで販売ができるよう、訓練の場にもしていきたいと思います。

就労移行支援事業の方では就職者3名（一般雇用1名、A型事業所2名）を出すことができました。今後も就職に入れていくたいと思います。

ひまわり園はより障害の重い生活介護事業では

特定相談支援事業所は計画相談の業務が下半期より始まり、兼務ではなく専任の担当者を置くこととしたしました。担当者の努力もあり、試行錯誤ではありましたが、みなさまの期待に応えようと頑張っているところです。



福岡ひまわりの里 原 恵美子

福岡ひまわりの里

福岡ひまわりの里では月一回、「利用者代表会議」を行っています。利用者の代表5名が会議室に集まり、その月の行事や日々の食事に関する感想、その他要望について様々な意見を出し合いながら、今後の活動に反映していくという流れで取り組んでいます。

この「利用者代表会議」ですが、代表だけではなく、より多くの利用者の意見や要望を施設での活動に反映できないだろうかという考えをもとに、今年度より新たな内容で取り組んでいます。その方法として、今まで代表会議で話し合っていた議題について、毎週月曜日に行われている全体会議で話し合っていた議題について、皆さんから出された意見を踏

もひまわり園の活動を温かい目で見守っていただきますよう、またご協力いただきますようお願ひいたします。

また、さらに代表会議で話し合うというものです。また全体朝礼で出された日常生活における問題や要望についても代表会議で話し合いながら、解決策を考えていきます。代表会議で話し合った内容は翌月の全体朝礼で皆さんにお伝えします。また次年度の利用者代表会議のメンバーは現メンバーの推薦（自薦も可）で決めていきます。会議も代表の決め方も、今まで以上に利用者主体で決めていく形になりました。

この新しい方法によつて、代表のメンバーだけではなく、より多くの利用者の意見が反映されること、また日常生活における様々な問題を会議で話し合うことで、全体の問題を自分の問題として捉えることができるのでないかと考えています。

施設での生活が利用者の皆さんにとって快適でより良いものとなるように今後も支援を行つていきたいと思ひます。



より地域に開かれていくことをコンセプトに、昨年11月に大名クロスガーデンにおいて、事業所初のイベント「ROCKROSS」を開催しました。立地のよさから一般客の動員をねらい音楽やダンス＆ファッショニングショート「マルシェ、利用者のライブペインティング、小学生画家モンド君の似顔絵描きと多彩な内容で構成しました。ステージ第1部はプロの音楽家3組の演奏と利用者4名による電子音楽ユニット「Heima」による演奏。イベントに向けて江頭支援員と4名が何度も語り合い練習を重ねた成果が迫力ある演奏となつて大きな感動を呼びました。第2部はダンスとファッショニングショート。全員がダンサー緒方さんの振付演出で練習を重ねました。自分で考え創り出すダンスに戸惑い、時に投げ出し涙を浮かべる利用者と緒方さんは正面から対峙し作品を造り上げていきました。ファッショニングショートのテーマは憧れのウエディング。その夢をかなえるために多くのボランティアさんが女性には白いTシャツをベースにしたドレス

より地域に開かれていくことをコンセプトに、昨年11月に大名クロスガーデンにおいて、事業所初のイベント「ROCKROSS」を開催しました。立地のよさから一般客の動員をねらい音楽やダンス＆ファッショニングショート「マルシェ、利用者のライブペインティング、小学生画家モンド君の似顔絵描きと多彩な内容で構成しました。ステージ第1部はプロの音楽家3組の演奏と利用者4名による電子音楽ユニット「Heima」による演奏。イベントに向けて江頭支援員と4名が何度も語り合い練習を重ねた成果が迫力ある演奏となつて大きな感動を呼びました。第2部はダンスとファッショニングショート。全員がダンサー緒方さんの振付演出で練習を重ねました。自分で考え創り出すダンスに戸惑い、時に投げ出し涙を浮かべる利用者と緒方さんは正面から対峙し作品を造り上げていきました。ファッショニングショートのテーマは憧れのウエディング。その夢をかなえるために多くのボランティアさんが女性には白いTシャツをベースにしたドレス



ひまわりパーク 六本松

ひまわりパーク六本松 山中 理恵

を、男性には帽子とベストを縫つて下さり、当日は美容専門学校の学生にメイクをして頂き更に美しく変身。「銀河」という優しい曲にのつてバージンロードを歩きプロポーズ。フィ

ナーレは利用者と職員の縄踊り。涙と喝采。チャペル内が温かな感動の渦に包まれました。手を差し伸べて下さる素敵なお方との出会いがイベント成功の鍵となりました。今後も

その出会いを大切に利用者職員共に成長していきたいと思います。



ひまわりパーク つぼみ

ひまわりパークつぼみ 今林 映一

平成26年度を振り返ると、つぼみは仲間づくりや地域との交流が始まつたと思います。4月から子ども総合相談センターの3名がA型事業に移行してつぼみの仲間になりました。

清掃の仕事のほかつぼみのレクリエーションなどに積極的に参加し、楽しい輪が大きくなつた感じがします。

また、生活訓練の仲間が増え、様々な社会体験や作業体験を行いました。施設内作業のほか、時には、動物園などの屋外作業にも参加し、作業を通じて動物園の仲間との交流が出来つあります。特に、休日余暇などで行動を共にする際は日頃は顔を合わせる機会が少ないので、総合相談センターの仲間のやさしい手助けが自然になつてきました。

さらに地域の学校との交流です。福浜小学校4年生の2学期の学習でチャレンジド（障がいを持つ人のこと）の仕事やレクリエーション活動を調べる学習があり、つぼみの箱折りや動物園の作業などに関心を持つてくれました。10月に小学校でつぼみのお話をしたところ色々な質問を

いたきました。そして12月には学習発表会ではこども達が短い時間で多くのことを一生懸命学習したことを実感しました。これからも地域との交流を大切にしていきたいと思います。

このように26年度は仲間づくりや学校との交流が始まつたばかりです。今後も一步ずつ工夫しながら取り組んでいきますので皆さんよろしくお願いします。



ひまわりパーク 上牟田

ひまわりパーク上牟田 小田 ふみよ
事業所開所から2年が経過しました。
今年後は、利用者増を図る為、ワゴン車購入また日本財團の福祉車両助



成により、車両を増やし、送迎の拡大をしました。現在、東・西・南コースで16名が毎日送迎を利用されています。今や、送迎は事業所として必須の業務となっています。安全に、また快適に送迎を利用していただく為に、今後はさらに車両の充実を図らねばなりません。



また、長期在宅で事業所通所の経験のない方や外出ができなくなつていた方3名が、相談支援センターの紹介により当事業所の利用を始められました。ご本人、保護者ともに「よかつた。」と喜んで頂いています。

さらに、精神障害のある方2名にもグループホームまでの送迎を実施



多機能型事業所として生活介護と就労継続B型のサービスを提供していましたが、27年度からは、公園清掃のA型事業も加わることになりました。今後は、A型利用者の賃金確保やB型利用者の工賃アップの為、製品開

発や販売技術を高める取り組みを行います。また、生活介護では、創意的なサービスをご利用いただいています。事前の見学の際、皆様から「穏やかな雰囲気がいいですね」との感想を述べられます。

地域との交流の為、地域懇談会を実施しました。今までご縁の無かつた地域の方々から快く、受け入れていただき感謝の限りです。懇談会をきっかけに、民生委員さんの作業ボランティア交流も始まりました。今後は、わたくしたちが地域に貢献できるよう努めてまいります。



ライフサポートてをつなぐ
川邊 大介

今年度、新たに立ち上がった「ライフサポートてをつなぐ」では、全てにおいて新しい取り組みをしています。ご自宅に訪問して支援を行う居宅介護、ご本人の外出を支援する移動支援など、他の事業所とは少し内容が異なり、日々の生活の中での支援に重点を置いています。

その中でも、移動支援に関しては、余暇的要素が強いためか嬉しそうな表情がよく見られます。公共交通機関を利用しての外出を楽しみにされている方もいれば、目的地での食事や買い物などを楽しみにされている方、ヘルパーとの関わりを楽しみに



ともつなぐ



「ライフサポートてをつなぐ」では、利用者さんの笑顔をいただきたくて、今後も日々努力をしていきます。これまで同様、職員の自己研鑽、研修などで知り得た情報の周知、ヘルパー研修を継続して行い、また、これまで以上に職員・ヘルパー間の連携を密にして、よりよい生活が行えるよう支援を行っていきたいと思います。

されている方など、様々な内容で樂しみにしています。「外出は久しぶりだ」と話す利用者さんがいらっしゃいます。その方は外出されると表情がぱッと明るくなり、渡していました。そのような表情を見ると、こちらまで嬉しくなつてきます。

相談支援 事業所だより

話したいという方は、特定相談支援事業所ひまわりの二田までご連絡をいつでもお待ちしております。

10月からの新しい制度の取り組みから半年が経ちました。各育成会の事業所の協力のおかげで、各区役所から封書が届くと「特定相談支援事業所ひまわり」へ保護者から連絡を頂くようになりました。その結果、3月は新規・更新手続きが約30件と通常の3倍の数をこなさなければならず、毎日が計画書の嵐でした。お陰様で、皆様のご協力のもと無事に30件の計画書の作成をすることができました。今後4月以降は受給者証お持ちの方が全員対象者となります。

平成27年3月16日(月)より新しく相談支援事務員 板谷さんという強力な職員さんが入られました。これまで以上に計画の依頼件数が増え仕事もハードになつていきますが、新しい職員と協力して、仕事も気持ちも右肩上がりになることを見えて頑張っています。今後も様々な場面でご家族の方にご協力を頂くことが増えると思います。板谷さんと一緒に皆様にとつてよりよい計画を作成していくので、区役所からの書類が届いたらまずはご連絡ください。その他書類が届かなくてもお

体験して広がる 中村ひろみ

今回より、育成会会員(保護者)、事業所職員によるリレートークを行います。テーマは、フリーでそれぞれの立場での思いや考えなどあらゆる視点から法人に対する熱い想いを述べもらいます。第1回目は、会員はひまわり園の中村ひろみさん、職員は福岡ひまわりの里の岩根佳香さんです。

ひまわりの里 岩根 佳香

福岡ひまわりの里の職員紹介をさせていただきます。今回は、看護師の岩根佳香さんです。

体験して広がる 中村ひろみ

福岡ひまわりの里で看護師をしています、岩根佳香と申します。福岡ひまわりの里に来て2年目になりますが、今まで病院での看護師経験しかなく、施設での仕事は初めてで、実際に仕事を経験し施設での看護師業務の難しさを痛感しました。

福岡ひまわりの里で看護師をして行等、いろんな行事もあり利用者さんの楽しむ姿がとても印象的です。また、保護者会では保護者の方々と直接お会いし、お話をできるため、施設での健康状態や、帰省した時の睡眠状況等のやり取りをさせていただき、より深く利用者さんのことを知ることができます。それでも貴重な機会です。

まだまだ未熟なところもあると思いますが、これからも利用者さんの健康管理に配慮し安全で安心して毎日を過ごせるように、少しでも力になれたらと思っています。



息子は、ひまわり園で月一回の余暇活動を楽しみにしています。一つは文化的余暇での茶道。もう一つは体育的余暇でのエアロビクスです。園に入るまでの本人にとつては、どちらも知らない世界。活動回数を重ねる事に発見、喜び、またルール、失敗、責任、我慢と活動する上で様々な体験をしています。これらは本人のみ

ながら「大丈夫、元気出してね。」と笑顔で声をかけていただき、勇気をもらいました。何気ない言葉や笑顔が家では応用編としてやってみる。出来たり出来なかつたりがまた、やる気、自信にもなる。親として小さい頃、障がいがあるからとあきらめ、体験させなかつた事も。本人の気持ちと逆らつた代弁者となつていた時期があつたと思う。出来ないながらにも、見えない力はきっと成長へつながっていたのにと。これから様々な活動に参加し感じてほしいし、色々な事に気づいてほしいと思います。そして君が、日々を笑顔で過ごしてくれたら母はうれしい。

福岡ひまわりの里では夏祭りや旅行等、いろんな行事もあり利用者さんの楽しむ姿がとても印象的です。また、保護者会では保護者の方々と直接お会いし、お話をできるため、施設での健康状態や、帰省した時の睡眠状況等のやり取りをさせていただき、より深く利用者さんのことを知ることができます。それでも貴重な機会です。

まだまだ未熟なところもあると思いますが、これからも利用者さんの健康管理に配慮し安全で安心して毎日を過ごせるように、少しでも力になれたらと思っています。

福岡ひまわりの里で看護師をしています、岩根佳香と申します。福岡ひまわりの里に来て2年目になりますが、今まで病院での看護師経験しかなく、施設での仕事は初めてで、実際に仕事を経験し施設での看護師業務の難しさを痛感しました。

着任当時は仕事について行けない自分に対しての苛立ちや悔しさで反省の日々でした。そんな時、利用者さ

第7回

福岡市障がい児・者美術展

「入賞作品展」開催報告

去る2月2日(月)から2月8日(日)までの7日間にわたり、第7回福岡市障がい児・者美術展「入賞作品展」が開催されました。今回は、新たに審査員特別賞を設けましたので、入賞作品が70点と例年以上に充実した作品展になりました。今回も新天町にある「ギャラリー風」を会場として行いました。7日間という短期間の開催でしたが、延べ1600人を超える来場者がありました。来場者の皆さんからは、「素晴らしい、感動した、元気をもらいました、発想がおもしろい、芸術的センスに優れている」など多数のコメントをいただきました。中には、作品を購入したいというお話を数件ありました。また、期間中は、メディアにも取り上げていただき、そちらをご覧になつた方が来場された場面もありました。また、入賞者ご自身も来場され、ご自分の作品の前で記念撮影されるなどの光景が見られました。過去には、この美術展で入賞された方で、その後、ご自分で個展を開かれるようになつた方もいらっしゃいます。本美術展は、単なるアート発表の場ではなく、出品者及び来



場された皆様のこれから活力に繋がることを願っています。また、出品者と観覧者、出品者同士、出品者と実行委員など、それぞれの出会い、繋がりもテーマの一つだと考えています。今回の入賞作品展で「第7回福岡市障がい児・者美術展」は、終了ですが、次回第8回福岡市障がい児・者美術展に向けてアーティストの皆さんは、作品制作に励まれることと思います。新たな作品に出合えることを期待します。

知的障がい、発達障がいのある方を、充実した保障でお守りします！

ぜんちの
あんしん保険
平成25年料率改定
少額医療健康組合保険(無介護型)2012年創設

入院保障

1泊2日からの手厚い入院保障。

個人賠償責任補償

原則として支払い回数に制限なし。

権利擁護費用補償

被害事故を解決までサポート。

死亡保障

万一のときの死亡保障。

ぜんちのあんしん保険 保障内容(A-1プランの場合)

年間保険料17,000円でこの充実した保障をお届けいたします。

病気・ケガ	死亡保険金	10万円	被害事故	法律相談費用	5万円
ケガ	特定重度障害保険金	10万円	被害事故	弁護士委任費用	100万円
病気・ケガ	入院保険金	1日につき 8,000円	被害事故	接見費用	1万円
病気・ケガ	入院一時金	10,000円	個人賠償	個人賠償責任保険金	1,000万円
ケガ	傷害通院保険金	1日につき 1,000円			

*1:一回の入院または一回の通院につき、30日限度。

*2:てんかんによる入院の場合は一日につき4,000円となります。

*この広告は商品の概要を説明しております。ご契約の際には必ず「パンフレット」「重要事項説明書」をご確認ください。

詳しい資料のご請求、商品のお問い合わせは下記代理店へお気軽にどうぞ。

○取扱代理店

株式会社 グッド・サポート

TEL 092-263-6771 FAX 092-263-6772

〒812-0037 福岡県福岡市博多区御供所町2-63 博多パルビル3F

○引受保険会社

ともに助け、ともに生きる
ぜんち共済株式会社

簡易封筒局長(少額短期保険)第14号
〒101-0032 東京都千代田区岩本町三丁目5番8号
岩本町シティプラザビル5階

保護者会だより

福岡市手をつなぐ育成会保護者会

ブロック別懇談会を終えて

「育成会があるから、大丈夫」と答えるように

会長 下山 いわ子

26年度も、育成会保護者会を構成する7ブロック全てに、育成会保護者会の会長・副会長が訪問する「ブロック別懇談会」を行いました。懇談会の参加者お一人おひとりから直接、現状や要望等を伺うことができました。

25年度は「育成会保護者会は、運動体として活動することが必要である」ことを確認し、今年度は、「運動体として活動するためには、会員が思いや要望等を育成会保護者会に伝える」ことを確認しました。

現状

○片親の世帯、障がいのある本のみの世帯が増え、保護者が、きょうだいや親せきである家庭が急速に増えています。「親が全てしていたので、福祉制度

のことは全然知りません。研修に参加したくても働いているので参加できません」「叔母なので、日頃の生活も知らないまま保護者という立場になつて、年金手帳がどこにあるのか、どんな手続きが必要なのか、どこに相談に行けば良いのか、とにかく何もわかりません。」とい

う声。

○「高齢化で、集まることも、なおさら役員引き受けることは難しい」とブロックの会長からの訴え。

○「親亡き後」の不安の一層の高まり。

現状

6月30日は、育成会総会
ぜひご参加を!

○居宅や送迎のサービスが充実して助かる一方で、いつまでも親が手元に抱え込んでしまって、「今は大丈夫」と後の準備が遅れてしまうという矛盾。

これからの活動

亡き後の不安については、他団体と連携して行政等に訴えることを求められました。

また、親は、きょうだいや親せきには負担をかけたくないという思いから、結果的に何も伝えないまま死ることがあります。「親亡き後」が心配であれば、残されるものへの準備が必要であること、どんな準備が必要であるかをきょうだいや親せきとともに学習できる企画の要望もありました。

研修でのアンケート回答、定例会等での様々な意見、要望を踏まえて、来年度の活動計画をたてます。

育成会だからこそ

保護者会 会長 奥村 信子

ひまわり園 会長 奥村 信子

イベントには沢山の地域の方の来場

があります。

昨年は、園に製品を販売する店をオーブンし、徐々に顧客が増えています。一年近く保護者が販売を担当し、新年度より利用者が完全に従事する運びとなりました。この様に保護者は何かしら出来ることで事業所

ブロック保護者会の様子

育成会保護者会は、会長・副会長と各ブロックから選出された幹事で役員を担っています。幹事はブロック会員の声を集約したり、情報を周知する努力をしています。

新しくできたブロックは、保護者会が開かれていないところもありますが、役員会では、歴史のある保護者会が活動の様子を報告したり、幹事間で情報交換を行っています。

今回は、各ブロックの取り組みの様子をご紹介します。

に協力する伝統は今も続いています。

ます。

ひまわりパークつぼみ

会長 牛丸 節子

の懇親行事の他に年10回定期的に保護者会を開いて、事業所からのお知らせ、育成会保護者会での活動・知的障がい者に関する情報を少しでも多く、直接伝えています。しかしながら日々親は高齢化し、保護者会を支える力が減っている事も事実です。

その様な中でも親である以上は、

人任せにするのではなく、力を寄せ合って、本人たちのためにがんばっています。

福岡ひまわりの里

会長 平原 满

里は離島です。それが故に閉鎖的で隔離された空間と言うイメージがあると思いますが、実際は違います。校区の地域交流会・夏祭り・体育祭などに保護者会で積極的に参加し地域密着型になりつつあるようです。

ただし、これからは、そもそも行かないと考えられます。里の保護者会も高齢化が進んでいて、島に渡るには複数の交通機関を利用しなければならない疲労を鑑みれば、イベントに多数の参加は難しいと思います。

そこで願わくば利用者の次世代の方々と親睦を計つて頂ければと思いま

つぼみの保護者会の代表になり、急激な変化に戸惑いながら何も十分に出来なかつた感があります。

この1年は、10月にプロック別懇談会にあわせてつぼみ保護者会を行ない、保護者の皆さん様々な声も伺うことが出来ました。

また、こどもたちや保護者の方とのバスハイクは、下関海響館に行き、美味しいものも食べ、充実した一日でした。クリスマス会では、カレーライスや唐揚げを一緒に作つたり、ゲームをして親睦を深めました。

そして、保護者会活動などを充実させるために多くの会員の賛同を得て、保護者会連絡用名簿をつくりまして、役員さんたちと一緒に活動を盛り上げるよう努力していきます。

あつて活動に活かしたいと思います。より良い保護者会活動になるように努力したいと思います。

ひまわりパーク六本松

会長 松田 守三

ひまわりパーク六本松のある草ヶ江校区自治会長様や草ヶ江公民館、館長様にいろいろ考えていただき協

いきたいと思っています。

保護者会やその他の活動にも参

してない保護者に参加できる様な工夫を考えたいと思います。

保護者間の意志の疎通を計ることが大切だと思いますので自由で型にとらわれない行事も考えて実施したいと思います。(青空交流会など)

ひまわりパーク上牟田

幹事 鈴木 昭夫

妻がいる間は全て妻任せにしていました私ですので、何もわからないまま育成会保護者会の幹事となり、約1年になりますが、満足のいく活動ができなかつたように思います。深く反省しています。これからは、さらに育成会

保護者会の催し物や研修会等に参加して、役員さんたちと一緒に活動を盛り上げるよう努力していきます。

また、プロック保護者のみなさまには、プロックの保護者会がないため、研修会開催時に一人ひとりに電話で連絡をしていましたが、今後も続けていきたいと思います。

プロック保護者会も年に1~2回程度開催してもらいたいと思います。

今後もつと細やかな、会員の皆さんに寄り添う為の活動をして行きました

個人会員プロック

個人会員とは、法人の運営する事

業所に所属していない、福祉の向上

を願つて運動する育成会保護者会の活動に賛同する、或いは、情報や仲間

がほしい、と入会している方たちです。

個人会員が所属していることが育

成会保護者会の大きな特色です。

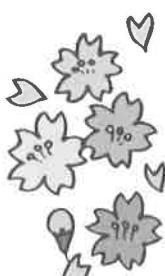
個人会員の集い、児童・学齢向け定例会を開き、守秘義務をルールとして、何でも話せる居場所にして、要望等集約しています。

幹事 高山 裕美

会員中、最も人数が多い個人会員

ですが団体で加入している会員とは違ひ、行政などの外へ発信する声が届きにくいという現状があります。

障がい児者本人が生きて行きやすい社会になるよう、家族の方々が発する小さな声をひろう為に保護者会の個人会員プロック幹事が中心になつて活動しています。





ひまわりパーク上牟田

福祉車両配置

日本財団の助成を受け、平成26年3月2日にひまわりパーク上牟田に軽自動車(バン)を配置することができました。今回、車両が配置されたことにより、利用者の方の送迎を中心に利用者支援に繋げていきます。日本財団のご厚意に深く感謝申し上げ、利用者支援の充実のために大切に使用させていただきま

ひまわり園 ■退職者

藤川 智加
久保 勝己
田中 裕子

福岡ひまわりの里

川村 あや子

ひまわりパーク六本松

氏岡 磨香

事業部

富山 光子
山崎 君江

■新規採用 ■ひまわり園

亀山 盛一郎

寄付のお礼

(平成27年1月～平成27年3月)

法人へ

中村 秀敏 様

福岡ひまわりの里へ
大野 謙司 様保護者会へ
中村 秀敏 様ライフサポートでつなぐへ
廣松 博子 様

ありがとうございました。

職員人事

藤川 智加
久保 勝己
田中 裕子

川村 あや子

氏岡 磨香

富山 光子
山崎 君江

亀山 盛一郎

寄付のお礼

(平成27年1月～平成27年3月)

法人へ

中村 秀敏 様

福岡ひまわりの里へ
大野 謙司 様保護者会へ
中村 秀敏 様ライフサポートでつなぐへ
廣松 博子 様

ありがとうございました。

第2回 権利擁護セミナー開催のお知らせ

障害者差別解消法施行に向けての取り組み～育成会の求められる役割

開催日時：平成27年4月24日(金) 10時30分～16時(受付10時開始)

開催場所：福岡市市民福祉プラザ(通称ふくふくプラザ)1F ふくふくホール

●プログラム●

10:30

開会のあいさつ

全国手をつなぐ育成会連合会会長 久保 厚子

10:35～12:00

講演

「障害者差別解消法施行に向けての地域での取り組み～差別解消支援地域協議会の取り組みについて」

講師 野澤 和弘(毎日新聞論説委員)

12:00～13:00

昼食・休憩

13:00～13:20

「知的障害理解と権利擁護」(その1警察版)の説明

細川 瑞子 委員

13:20～16:00

シンポジウム

「障害者差別解消法の施行に向けて

各地での条例づくりから」

シンポジスト

一般社団法人長崎県手をつなぐ育成会 甲田 裕会長

社会福祉法人熊本県手をつなぐ育成会 川村 隼秋会長

公益社団法人沖縄県手をつなぐ育成会 田中 寛理事長

社会福祉法人福岡市手をつなぐ育成会 向井 公太理事長

閑哉 直人弁護士

助言者

毎日新聞論説委員

野澤 和弘

コーディネーター

全国手をつなぐ育成会連合会

田中 正博 統括

- 主催 全国手をつなぐ育成会連合会
- 主管 社会福祉法人 福岡市手をつなぐ育成会
- 参加費 2,000円(弁当必要な方は別途600円徴収)
- 定員 240名

参加申し込み先 問い合わせ先

社会福祉法人 福岡市手をつなぐ育成会

TEL 092-713-1480/FAX 092-715-3561

e-mail: honbu@fiku.jp